

子ども通信

この通信では、「子どもの権利」に関するさまざまな取組をお知らせします。



子どものまち ミニさっぽろ 2023



9月30日(土)・10月1日(日)の2日間にわたって、4年ぶりととなる「ミニさっぽろ」が開催されました。

ミニさっぽろは、「ミニさっぽろ市」という仮想のまちで職業体験を行うことのできる体験型のイベント。

札幌市内及び近郊の小学3、4年生を対象に、子どもたちが職業体験や消費体験を通して、働くことの楽しさや大変さを身をもって経験し、社会の仕組みを学びます。

子どもたちは、お仕事情報誌



小学5・6年生の「子どもボランティア」も大活躍し、子どもたちの笑顔あふれる2日間となりました。



を参考にしながら、建設・官公庁・商店街・オフィス・カルチャーの5つのゾーンから会社(お店)に就職し、ドールという通貨でお給料をもらい、買い物や食事をしたりして楽しみました。

こども まんなか

応援サポーター宣言

札幌市はこども家庭庁が進める、こどもまんなか社会の実現に向けた取組の趣旨に賛同し、9月30日(土)ミニさっぽろの会場において、秋元克広札幌市長が、「こどもまんなか応援サポーター宣言」を行いました！
これからも子どもたちが健やかに成長できるよう、子どもにやさしいまちづくりを進めていきます。

往来交流を4年ぶりに再開！



▲特別英語レッスンの様子



▲シンガポール教育省表敬訪問

シンガポール少年少女交流事業



札幌市では、アジア地域との交流を推進するとともに、国際的視野の広い少年少女の育成を目的に、昭和63年度からシンガポールとの相互交流を実施しています。

世界の人々との交流を通して、豊かな国際感覚を身に付けた青少年を育成するため、子どもの海外ホームステイ事業を実施しています。

8月3日～8月17日の2週間、札幌市内の中学2年生12人をシンガポール共和国へ派遣しました。

現地では、同じ年のバディ宅にホームステイをしながら、シンガポール教育省への表敬訪問、教育省語学センターにおける特別英語レッスン、現地中学校への体験入学を実施。東南アジアの伝統文化のバティック(ろうけつ染め)の体験や、シンガポールの市内視察を行い、バディやホストファミリーなどと交流して親睦を深めながら、シンガポールの多様性や札幌との違いを肌で感じる事ができた2週間となりました。

子どもの権利 せんりゅう・ポスター入選作品

優秀賞



札幌市立札幌北中学校2年 大向 深月さん
『未来を選ぶ』



北海道札幌稲雲高等学校3年 安原 悠翔さん
『自分色でいよう』

最優秀賞



札幌市立資生館小学校4年 縄 乃々香さん
『ひとりひとりの個性大切に育てる社会』

「わたしだけ?」

それは素敵なきみの色
札幌市立北都中学校3年 竹内 琴音さん

すきないろみんながうとにじになる
札幌市立白楊小学校1年 北川 泰成さん

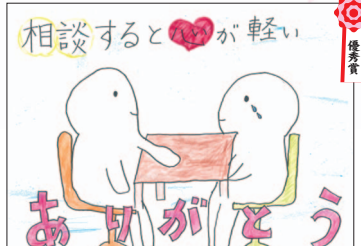
なりたいなみんなのためのリーダーに
札幌豊成支援学校中学部2年 佐藤 希さん

大丈夫何でもできる
北海道札幌白石高等学校2年 藤田 未侑さん

見ていてね私のせいじゃない
北海道札幌白石高等学校2年 瀧田 采音さん

遊びたいヤングケラー 嘆いてる
札幌市立星置中学校2年 北本 悠陽さん

その言葉わらっていても
札幌市立南小学校5年 古屋 佳暖さん



札幌市立明園小学校5年 牧野 夢羽さん
『相談すると心が軽い ありがとう』



札幌市立太平小学校6年 久下 紬乃さん
『自分の気持ちを大切に』

子どもにとって大切な権利
*安心して生きる *豊かに育つ
*自分らしく生きる *参加する

札幌市子ども未来局子どもの権利推進課
〒060-0051
札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館3階
☎011(211)2942 FAX(211)2943
✉kodomo.kenri@city.sapporo.jp

